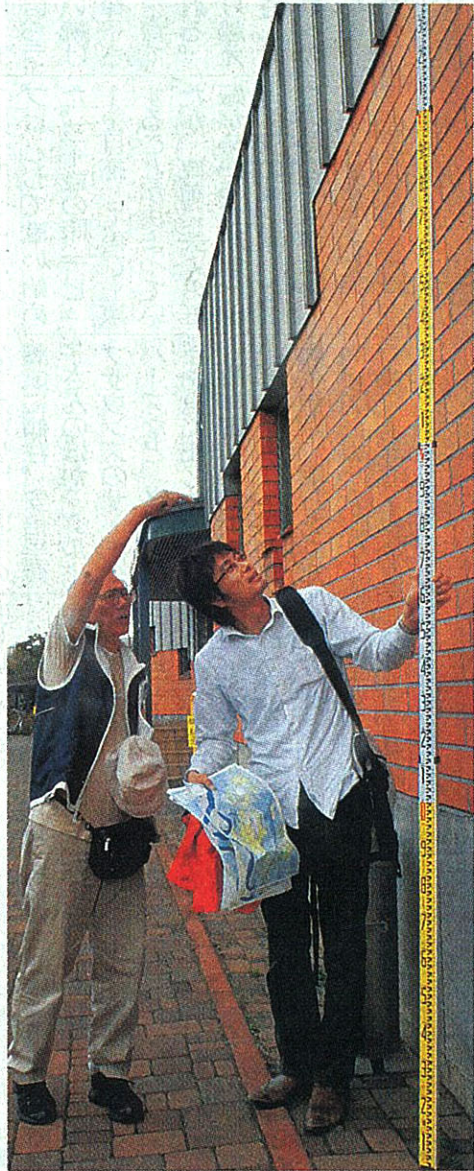


# がけ崩れ687カ所 土石流283カ所 地すべり4カ所で可能性

## 豪雨災害札幌も要警戒

最悪の場合、185センチある加村主任研究員(右)の身長を越す洪水も想定される北区のJRあいの里公園駅



豪雨による痛ましい災害が全国で相次いでいる。札幌ははたして安全か。市が今年、公開した「土砂災害危険箇所図」を見て驚いた。崩落や土石流の恐れがある場所があちこちにある。「札幌も人ごとではない」と防災

の専門家新谷融・北大名誉教授。南区南沢では住民の声を反映させたハザードマップづくりも始まっているという。1日の「防災の日」に合わせ、同図や洪水ハザードマップを手に市内を案内してもらった。(小坂洋右)

市によると、「地図情報をもとに抽出したもので、あくまで災害に備える上での参考」との位置づけで、今年一月、市内二千七百七十七町内会のうち、危険箇所がある二百九十町内会に同図を回覧した。

新谷さんは「地価に影響するから、出してほしくないという向きもあったのでは」と推測しつつ、「でも、危険を知ってお

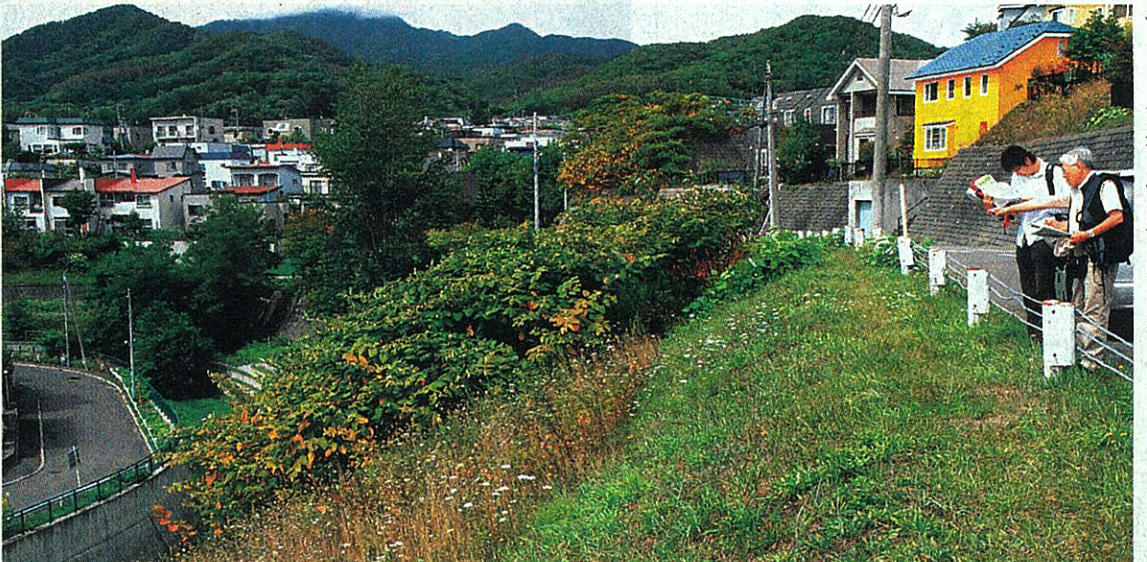
南区へ向かう車の中で新谷さんは「市はよく危険箇所図の公表を決めたと思いますよ」と口を開いた。同図は傾斜や地形など国の基準をもとに、大雨による危険箇所を、がけ崩れや「土石流」、斜面の一部や全部が滑り落ちる「地すべり」の三つに大別。それぞれ市内に六百八十七カ所、二百八十三カ所、四カ所の計九百七十四カ所と指摘している。

### 市公開「危険箇所図」を歩く

傾斜地の下を南の沢川が湾曲しながら流れる南区南沢地区で危険箇所をチェックする新谷さんら

小高いところから望むと、住宅街を縫って流れる南の沢川の一部はかなりの角度で湾曲し、川床には何本もの柳が茂っている。川は眼下のがけ下を流れているが、川向こうにはきりぎりまで住宅

車が南区南沢に到着した。同図で土石流やがけ崩れの恐れがあることを知った南沢地区町内会連合会は今年六月、危険箇所の把握や避難経路について行政と協議を開始。市は先進事例とすべく、同地区のハザードマップを本年度中に作成する計画だ。



が建つ。図面と突き合わせると、下流のがけ下は崩落の危険箇所になっていた。

### 専門家 避難経路など地域で確認を

「雨で勢いを増した川は湾曲部もまっすぐに行こうとする。ここで住宅地に水が入る可能性があるし、水流で削られたがけが崩落して流れをふさぎ、はんらんさせることもありえる。いろいろなものが引掛かるから柳も本当は切った方がいい」と新谷さん。

新谷さんは現在、防災の啓発を全国で行うNPO法人「環境防災総合政策研究機構」の道支部長を務めており、「町内会や連合町内会単位で、道、市や消防、警察などと、どのような状況を警戒しないといけないのか、避難をどう進めるか話し合っておくのが望ましい」と促す。住民との協議次第だが、将来的には川づくりや森づくりも視野に入れる可能性があるという。

川べりを案内してくれた南沢地区町内会連合会及び川三郎会長は「図面を示されて、ここがそんなに危険地帯だったのか、と改めて認識させられた。関係機関が防災対策をやってくれることに住民に出て行かれたりするとメモリットにもなりかねない」と複雑な胸中をのぞかせる。

#### 住民が勉強会 北区あいの里

次に向かったのは北区あいの里のあいの里公園駅。二〇〇四、〇五年に市が作成した洪水ハザードマップをもとに、同行強会で防災意識を高めている。

最近の水難といえば、女性ドライバーが自動車道の高架下で車ごと水没して命を失った栃木県の災害が記憶に新しい。「アンダーパスも見えますか」と新谷さんに言われ、百合が原公園アンダーパスに向かい、排水溝やポンプを確認する。

- 札幌市の問い合わせ先
- 避難と危険箇所図の回覧(危機管理対策室) ☎011・211・3062
  - がけ地危険箇所(都市局宅地課) ☎011・211・2512
  - 土石流危険箇所(建設局河川管理課) ☎011・818・3415



南区の南沢地区町内会連合会の及川会長(右)に災害対策を説明する新谷さん

市によると「排水ポンプは一時間六〇リットの雨量に耐える設計」(道路維持課)。札幌に大洪水を起した一九八一年八月の二度の大雨はそれぞれ総雨量二九四リットと二九リットで、一時間の最大雨量は二九・五リットと三七・五リット。しかし、先週末の記録的豪雨で愛知県岡崎市で観測された一時間の最大雨量は一四六リット。新谷さんは「万一に備え、危険箇所や避難路を家族や地域で見直してみることが大切」と話している。